

商品/サービス紹介：



HappyGoGoは団体競技のトレーニングシステムで、最大6名の高齢者が一緒に競技形式のトレーニングを行える。このシステムは単一の深度センサカメラを運用して人体の動作を計測し、ユーザーはデバイスを身につけずに運動できる。

現在、HappyGoGoは150種類以上のAR環境があり、バランス、持久力、上肢・下肢等の体カトレーニングだけでなく、日常生活での身体機能と認知のトレーニングにも使用できる。訓練後にユーザーの訓練状況と成果を分析するレポートを提供可能で、身体機能の変化・発展を追跡することで、適時コースを調整できる。

商品/サービス略図：



成果/利益：

高齢者の社交と運動のニーズを満たすと同時に医療スタッフへの依存を減少する。介護施設とコミュニティの健康サービス拠点が自らコースを設計しやすく、要介護の初期段階での予防を促進する。訓練後のデータ化で介護スタッフの記録および訓練成果と身体機能の変化追跡をサポートする。

実績：

台湾医学センターの市場占有率は50%に達する。台大医院リハビリ科、三軍総医院等を含む。多数の健康センター、老人ホーム等の介護施設で使用されている。例、台湾の介護施設でトップブランドの双連安養中心。シンガポール、香港等、アジア市場へ拡大している。

- 2019 医策会国家医療品質賞認証
- 2019 經濟部バイオ産業白書 健康福祉産業の代表的な企業
- 2018 「1st Well Aging Society Summit Asia-Japan」で講演

希望提携先&モデル：

提携対象：
介護施設、例：デイケアセンター、宿泊型介護施設